

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131203		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	障害者自立支援介護給付事業			担当部局・課	健康福祉部 障害福祉課			
事業内容	ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイ等の介護サービスの支援。			事業開始(予定)年度				
				—				
				事業終了(予定)年度				
			—					
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	障害者の在宅生活支援サービスの提供					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	介護を必要としている障害者に、各種福祉サービスを提供して障害者の自立を図る。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 障害福祉費 (事項) 障害者自立支援費 (目) 障害福祉総務費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	375,752千円	財源内訳		事業費	406,592千円	財源内訳	
			国・県補助金等	280,697千円			国・県補助金等	303,991千円
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	95,055千円			一般財源(市税等)	102,601千円
	投入人員	2.81人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	2.81人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	24,070千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	24,070千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	399,822千円		経費合計	430,662千円			
	活動指標	指標名(単位)	支給決定に対する利用率（％）			計画と実績	年度 区分	H17年度
意味・算式等		サービスの支給決定に対する実際のサービスの利用割合			計画値		—	100
					実績値		—	